

# 体験学習ファシリテーター基礎講座

## —体験学習のファシリテーションの基礎を学びたい人のために— 【ファシリテーター・トレーニング】

担当者	中村和彦（南山大学人文学部心理人間学科教授）
概要	<p>人間関係講座などの「体験学習」を修了された方が、「ラボラトリー方式の体験学習」の実施者（ファシリテーター）となって、体験学習プログラムを進行していき、学習者の学びを促進していくための基礎を学ぶための講座です。</p> <p>学校の教師、研修講師、人材開発担当者などの方で、教育の場面で、体験学習や参加型教育を用いている方、体験学習のファシリテーションの基礎を学びたい方に最適な講座です。</p> <p>当センターが実施する類似の講座として「アドバンス体験学習」があります。「体験学習ファシリテーター基礎講座」が基礎編、「アドバンス体験学習」が応用編となります。「体験学習ファシリテーター基礎講座」では、既存の実習を用いて、体験学習プログラムを設計し、実施するファシリテーターの力を養います。「アドバンス体験学習」では、体験学習プログラムを独自に作成して実施するため、体験学習の設計についても深く学ぶことができます。</p> <p>今年度の「アドバンス体験学習」に参加される方は、その学びの前段階としてファシリテーションの基礎を学ぶために、本講座（体験学習ファシリテーター基礎講座）に参加されることをお勧めします。なお、本講座は「アドバンス体験学習の前提条件になっていませんので、本講座を受講いただくなくても、「アドバンス体験学習」にお申込みいただけます。</p> <p>「体験学習ファシリテーター基礎講座」では以下の内容を扱っていきます。本講座は、南山大学大学院人間文化研究科教育ファシリテーション専攻の授業「体験学習ファシリテーション基礎研究」の内容に準じて行われます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・体験学習プログラムを進める際の留意点について</li><li>・ねらいの設定と実習の選択について</li><li>・各フェーズでの進め方について（導入、課題の実施、ふりかえり、全体でのふりかえり）</li><li>・参加者が3つのグループに分かれて、各グループで体験学習プログラムの準備を行う</li><li>・ファシリテーター・グループが体験学習プログラム（90分間）を実施する →他のグループのメンバーは学習者になる ファシリテーター・グループにフィードバックを行う</li><li>・体験学習のファシリテーションについての小講義</li></ul> <p>なお、1回目の週末と2回目の週末の間に、体験学習プログラムの準備が必要になります。</p>
日程	2016年9月17日（土）、18日（日）、10月1日（土）、2日（日）4日間 10：00～18：00
定員	18名
参加資格	当センターの人間関係講座を修了された方、またはそれに準ずる経験をお持ちの方（不明の場合はお問い合わせください）
会場	南山大学 D棟 D51教室
受講料	受講料 33,600円（税込）
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">担当講師 中村和彦 記</p> <p>今回、初めての開催となった「体験学習ファシリテーター基礎講座」は、9月 17日（土）、18日（日）、10月1日（土）、2日（日）の4日間で行われました。この講座のプログラムは、私が2008年度から担当してきた大学院の授業「体験学習ファシリテーション基礎研究」のプログラムがベースになっています。</p> <p>講座のねらいは、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ラボラトリー方式の体験学習について理解を深める。</li><li>・ラボラトリー方式の体験学習の場をつくり、実施していくファシリテーションの基礎的な力を養う。</li><li>・体験学習プログラムをチームで設計する際に起こるプロセスから学ぶ。</li></ul> <p>の3つでした。ラボラトリー方式の体験学習のファシリテーションについて学ぶ講座は、当センターでは、他に「アドバンス体験学習」があります。この講座は、「アドバンス体験学習」よりも基礎的な内容に位置づけられます。</p> <p>講座1日目には、ラボラトリー方式の体験学習のファシリテーションについて、小講義や対話を通して学びました。講座2日目と3日目の午前には、3つのチームに分かれ、それぞれのチームで自分たちが提供する体験学習プログラムについて準備をしました。この講座では、実習集などに掲載されている実習をそのまま使う、または、少しアレンジして使う、というのが特徴です（「アドバンス体験学習」ではオリジナルな実習を設計します）。つまり、この講座では、実習の設計よりも、実習を実施（ファシリテーション）した体験から学ぶことが中心となります。</p> <p>講座3日目と4日目には、各チームが90分間の体験学習プログラムを実施し、他の受講者からフィードバックをもらう、というセッションが行われました。受講後に記入いただいたアンケートでは、「一つひとつの実習を実施し、フィードバックがあるので、細かい気づきが得られた」、「ねらいの大切さやクロージングの意味がわかり、満足しました」、「学習者中心を改めて感じることができました」、「今後、体験学習をファシリテートしていくうえで、自身の課題やチャレンジの方向性が見えました」などの感想をいただきました。</p>